

安楽寺だより 第34号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話: 03-3451-1509 FAX: 03-3798-2238

発行者: 藤澤 克己 (安楽寺住職) ホームページ: <http://www.anraku-ji.org/>

(安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月に発行します)

春の息吹に胸弾ませるのはなぜ？

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？

冬の寒さが厳しかった分、春の暖かさが待ち遠しく思えました。3月初旬から徐々に春らしさを感じるようになりましたが、寒暖の差が激しかったので体調を崩された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。体調に気をつけてお大事にお過ごしください。



春らしい赤・白・黄色のチューリップ(4月)

永代経法要のご案内

日時: **5月10日(木)**午後1時～

お勤め: 仏説阿弥陀経

ご法話: 増田 廣樹 師

(清心寺副住職)

昨年に引き続きお迎えします。

お人柄のにじみ出るお話しが

心に沁み入りましたと何人か

の方から感想をいただきました。

今年もぜひお話を聴きにお参りください。



春は天気が変わりやすいこともあります。入学と卒業、出会いと別れの季節でもあります。さまざまな環境の変化があり、どこか落ち着かない感じもします。暖かくなってきて嬉しい反面、花粉症を気にすれば憂鬱な気分になり、単純ではありません。

思えば、春の息吹きに胸弾ませるのは、そういった複雑な感情があるからこそかもしれないですね。

みなさんの今年の春は、いかがですか？

《あれこれ抄》

▼春の安楽寺だよりをお届けします。▼花粉症を他人事だと思っていたのは、ずいぶん昔のことです▼天気予報で花粉情報の真つ赤な地図を見てクシャミが出そうになりました▼地図の色がそろそろ穏やかになってほしいと願っています。▼将棋界の藤井聡太六段の大活躍には目を見張るものがあります▼ただ強いだけでなく、謙虚で礼儀正しい振舞いは立派です。▼大リーグで二刀流に挑戦している大谷翔平選手の活躍も天晴です▼冬季オリンピックで金メダルを取ったフィギュアスケートの羽生結弦選手など、最近の若者はなんとも頼もしい限りですね。▼おかげさまで前任職は五十七歳の誕生日を無事に迎えることができました。

春彼岸にようこそお参りくださいました



今年の春のお彼岸は天候が不安定でした。彼岸の入りと彼岸の明けの頃は暖かい天気でしたが、お中日は雪が降るかもしれないという予報でしたので、お墓参りの日程を変更した方も多かったようです。

それでも多くの方が足を運んでくださり、安楽寺墓地にはたくさんの綺麗な花が供えられました。

お帰りになる際、「お墓参りすると気持ちが落ち着きますね、スッキリしました」とお話をくださった方の穏やかな笑顔が印象的でした。

ようこそお参りくださいました。

前住職の米寿を祝いました



おかげさまで、前住職は2月に無事88歳の誕生日を迎えました。子どもや孫、甥・姪など総勢15人が集まり米寿のお祝いをしました。



お盆のお参りについて

東京近郊のお盆参りは7月15日を中心に行われます。新盆(初めて迎えるお盆)のお宅を中心に住職がお参りさせていただきます。お参りをご希望の方はどうぞお声掛けください。

1つ紹介します



おてら
おやつ
クラブ

「おてらおやつクラブ」はお寺にお供えされるさまざまな「おそなえ」を、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、子どもをサポートする支援団体協力の下、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」する活動です。

檀信徒・地域の方
応援者



おそなえ

お寺



おすそわけ

支援団体



手渡し・送付

子ども・保護者



安楽寺は趣旨に賛同し、この活動に参加しています。ご理解をいただける場合に「お供えもの」を「おすそわけ」するようにしています。



安楽寺総墓「無量寿塔」について

安楽寺墓地の一番奥には「無量寿塔」と名付けたお墓があります。安楽寺の総墓であり、合葬墓として末永く安楽寺とのご縁を護持するための「有縁墓」です。安楽寺に縁の有った方に入っていただくお墓という意味です。

具体的には、安楽寺墓地にお墓のある方で、後を継ぐ方がどうしても見つからない場合、お墓の改葬（ご尊骨の引っ越し）として無量寿塔に納骨することができます。



お墓の後継ぎ(承継)について不安を感じていらっしゃる方は少なくないと思っています。無量寿塔への改葬は将来の1つの選択肢になり得ますが、それぞれの事情やお考えがあるはずですので、ぜひ個別にご相談させてください。(お声掛けください)



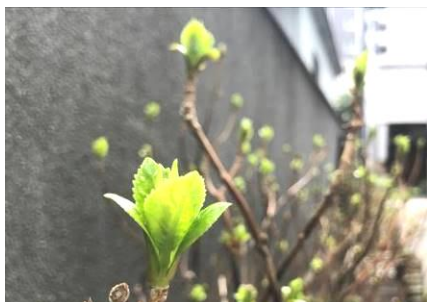
たとえば、こんな方がいらっしゃいました。ご自身が亡くなった後、お墓を継ぐ人はいないけれど、お参りに来てくれる人のため七回忌まで今のお墓に収蔵しておき、七回忌法要を勤めた後に無量寿塔に改葬してほしい、お布施を含めてその費用を先に預けておきたい、という内容でした。

ご希望や大切にしたいことを確認した上で、安心していただける道筋を見つけるよう精一杯対応させていただきます。



久しぶりに積もった雪
(1月)

参道のアジサイの芽吹き
(3月)



《季節の思い出》

～冬から春へ～



熱海梅園の梅 (2月)
[撮影：金子道也さん]



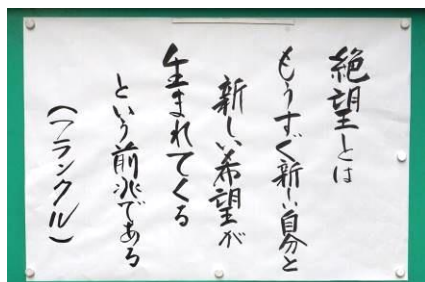
青空に映える蟠梅 (ロウバイ)
(1月)



水鉢を泳ぐメダカ (4月)

月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

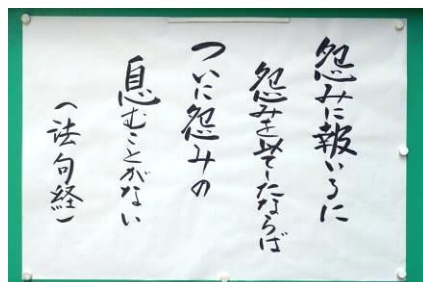
お寺の入り口に、その時々々の伝道の言葉を掲げています。(1か月毎)



2018年2月



2018年3月



2018年4月

《第2回 公開講座を開催します》 ※次世代の方やお知り合いにもご紹介ください

ちょっと気になる お墓のこれから

吉川 美津子 氏
（結婚講座講師）

葬儀・お墓・終活コンサルタント。
「お墓の大変難しゼロからわかる墓じまい」等の著書を通して、お悩みにまつわる不安の解消、またその対処法などを分かりやすく解説、相談と対応をつなぐ活動を目的。

大來 尚順 氏
（1-クセセッション）

浄土真宗本願寺御僧侶（山口県福徳寺）。
「英語でブツツの著書として仏教を分かりやすい言葉で伝える活動に賛同し、テレビ「ぶっちゃけ寺」に出演したり、聖地本願寺前庭、銀座SALONの講師を務めている。

平成30年 **6月9日(土)** 開場13:15 開演14:00

定員：70名（先着順・事前申込み優先）

ベルサール田町（東京都港区芝浦）3階 Room2+3

主催：浄土真宗本願寺派 東京教区 芝組
後援：築地本願寺 公益財団法人仏教伝道協会

昨年引き続き、これまでお寺に縁の無かった人を対象とした第2回公開講座（参加費無料）を開催します。

「お寺は敷居が高い」とよく言われてしまいますが、お寺側の情報発信が不足しているからではないかと考え、芝組14の寺院が合同で実施するものです。

「墓じまい」「終活」などの事情に詳しい専門家をお招きしてお話をお聴きしますので、よろしければ足をお運びください。そして、次世代の方やお知り合いにもご紹介いただければと思います。

日時：平成30年6月9日(土) 14:00開演
場所：ベルサール田町（東京都港区芝浦）Room2+3
定員：70名（先着順・事前申込み優先）
申込：安楽寺までご連絡ください

安楽寺本堂で「お灸体験」を開催しました

安楽寺は“安心して訪れることができ、ホッとできる寺”でありたいと願っています。このたび縁あって「お灸体験」を開催しました。初めてお寺の本堂に入ったという人は、木造本堂の雰囲気喜んでくださいました。開催は不定期ですので関心のある方はどうぞお問合せください。



「定例法話会」の今後の予定（毎月第3日曜日 午後2時～）

伝道掲示板の言葉をもとにお話させていただきます。いつでもご参加ください。

4月15日(日) 5月20日(日) 6月17日(日)